

科目名	作業療法評価学演習Ⅳ (高次脳機能障害)	担当教員	佐々木努※ ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-------------------------	------	---------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	2年次	後期	1単位	演習

科目概要	認知機能が破綻した、あるいは破綻する可能性のある対象者の日常生活を支援することが作業療法士の役割である。本講義では、これまで学習した内容を踏まえ、既存の神経心理学的検査や評価手法を健常者を対象として経験する。その過程で、種々の認知機能の構造に関する理解を深める。加えて、加齢に伴う認知機能の変化や疾病による認知機能の低下が人の生活に与える具体的影響について、それらの検査や評価結果からどのように臨床的推論をすすめていくのかを教授する。
学習目標	① 認知機能を評価する理論的枠組みを理解する。 ② 認知機能障害を評価するための評価方法・検査の構造を理解する。 ③ 既存の評価方法・検査をマニュアルに沿って実施することができる。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	総論	認知機能障害の評価総論	認知機能を評価することの意味について学習する。	佐々木
2	知的機能評価1	MMSE、HDS-R、WAISの内容を理解する。	MMSE、HDS-R、WAISを実施できる。	佐々木
3	知的機能評価2	Kohs立方体検査、レーヴン色彩マトリクス検査の内容を理解する。	Kohs立方体検査、レーヴン色彩マトリクス検査を実施できる。	佐々木
4	注意機能評価1	CATSの内容を理解する。	CATSを実施できる。	佐々木
5	注意機能評価2	TMT、かなひろいテストの内容を理解する。	TMT、かなひろいテストを実施できる。	佐々木
6	記憶機能評価1	WMS-R、RBMTの内容を理解する。	WMS-R、RBMTを実施できる。	佐々木
7	記憶機能評価2	三宅式記銘検査、レイ複雑図形検査の内容を理解する。	三宅式記銘検査、レイ複雑図形検査を実施できる。	佐々木
8	半側空間無視	BITの内容を理解する。	BITを実施できる。	佐々木
9	行為機能評価1	SPTA、WAB（行為検査部分）の内容を理解する。	SPTA、WAB（行為検査部分）を実施できる。	佐々木
10	行為機能評価2	生活物品の使用障害の評価について理解する。	生活物品の使用障害の評価を実施できる。	佐々木
11	遂行機能・前頭葉機能評価	BADS、FABの内容を理解する。	BADS、FABを実施できる。	佐々木
12	失認の評価	VPTAの内容を理解する。	VPTAを実施できる。	佐々木
13	道順障害の評価	道に迷う症状に対する評価を理解する。	道に迷う症状に対する評価を実施できる。	佐々木
14	脳梁損傷の評価	脳梁離断症状に対する評価を理解する。	脳梁離断症状に対する評価を実施できる。	佐々木
15	その他	その他の認知機能障害に対する評価を理解する。	その他の認知機能障害に対する評価を実施できる。	佐々木
評価方法		筆記試験(100%)		

教科図書	なし
参考図書	多くの良書が出版されている。講義内で紹介する。
学習の準備	作業療法評価学（高次脳機能障害）で学んだことを十分に復習すること。
オフィスアワー	随時
担当教員欄に※印を附した教員の 実務経験	佐々木努は、民間病院で認知機能障害における作業療法の実務経験を有しており、本講義においてその経験を活かしてより実践的な指導をすることができる。